

地域ネットワーク部会

平成27年1月10日

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当分野の課題と目標

【目標】住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。

中期目標：2015年までにすべての病院・施設がパスについて知識をもち、各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する

最終目標：2018年までに県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠点病院の集中化解消を行う。

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の合算、分析

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】
医療者、行政などから医療機関の機能が適切に有効活用される。

【アウトカム目標2】
クリティカルパスの認知度の向上

【アウトカム目標3】 地元の施設にかかると患者の増加

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】
2016年3月までに院内がん登録データベースを収集し、院内がん登録データベースを用いて症例区分を集計する。

【アウトカム目標2】
引き続き、離島、院内、かかりつけ施設、一般向けに研修会を行う。

【アウトカム目標3】
2016年3月までに肺・胃・肝・乳がんの私の力を作成し、配布及びHPに公開する。

【アウトカム目標4】
2016年3月までに浦添市をモデル地区とし、浦添総合病院に地村クリニックとパスの連携をして頂くよう依頼し、連携後の意見を伺い沖縄県のがん医療連携における課題・要望を把握する。

【アウトカム目標5】
2016年3月までに化学療法のパラスを作成する。

【アウトカム目標6】
平成27年度中にPSA二次検診パラスを10人に適用する

【アウトカム目標7】
平成27年度中に、肺がん5人、胃がん15人、肝がん5人、大腸がん30人、乳がん60人、がん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトカム目標8】
平成27年度中に前立腺がん地域連携バスを10人に適用する

【アウトカム目標9】
平成27年度中に在宅緩和ケア地域連携バス(ていーあんだバス)を5名に適用する

【アウトカム目標10】
毎年、部委員が発表する2016年3月までに論文を作成する。

施策アクションプラン

【施策1】
八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内「症例区分(診断の療開始後など)」を集計し、診療実態を明らかにする。

【施策2】
がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

【施策3】
肺・胃・肝・乳がんの私の力の改訂を行う。

【施策4】
がん診療連携の在り方を検討する。

【施策5】
胃がんと大腸がんの化学療法のパラスを作成する。

【施策6】
PSA二次検診クリティカルパスの運用を行う。

【施策7】
肺がん、胃がん、肝がん、乳がんの地域連携パラスの簡素化の改訂を行い、引き続き大腸がんの地域連携クリティカルパスを適用を増やす。

【施策8】
前立腺がん地域連携バスの適用数を増やす。

【施策9】
在宅緩和ケア地域連携バス(ていーあんだバス)の適用数を増やす。

【施策10】
地域ネットワーク部会の活動を学会報告および業績を論文化する。

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目1】
医療者、行政などすべてに対する情報不足の解消

【対策項目2】 地元医療施設での治療の促進

前立腺がん地域連携クリティカルパス院内研究会 開催報告

1. 日時：平成27年4月6日（木）18：00～19：00
2. 場所：琉大病院 看護部会議室（病院5階）
3. 講師：呉屋 真人（腎泌尿器外科 診療准教授），
宮里 実（腎泌尿器外科 准教授）
3. 対象：医師、看護師、連携室職員など、がんに関する病診連携、がん診療に興味がある方
4. 主催：沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会・琉大病院がんセンター
5. 参加者数：30名（医師 2名、看護師 19名、放射線技師 2名、MSW 3名、その他 4名）
4. 内容：呉屋先生より、前立腺がん地域連携体制の仕組みと連携パスの内容、前立腺がん地域連携パス算定までの院内運用フロー（9ステップ）などについて説明があり、看護師や関連部署と院内運用フローについて意見交換が行われた。
宮里先生より、PSA二次検診クリティカルパスについての説明があった。



呉屋先生より、前立腺がん地域連携体制の仕組みと連携パスの内容や、運用までの流れについて説明があった。



宮里実先生より、「PSA 二次検診クリティカルパス」について説明がありました。



院内運用フロー（9ステップ）について関連部署と意見交換が行われました。



1. 主催：沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会・琉大病院がんセンター

**前立腺がん地域
連携クリティカル
パス院内研修会**

2015.4.6(木) 18:00~19:00

【場所】看護部会議室(病院5階)

【講師】呉屋 真人(腎泌尿器外科 診療准教授)
宮里 実(腎泌尿器外科 准教授)

【対象】医師、看護師、連携室職員など、がんに関する病診連携、がん診療に興味のある方。

お問い合わせ：沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事務局
(琉大病院看護部がんセンター内) <http://www.okinawa-hp.jp>
TEL: 098-895-1100(受付時間) FAX: 098-895-1192(受付時間) 琉大 看護部 事務局